



家畜衛生だより

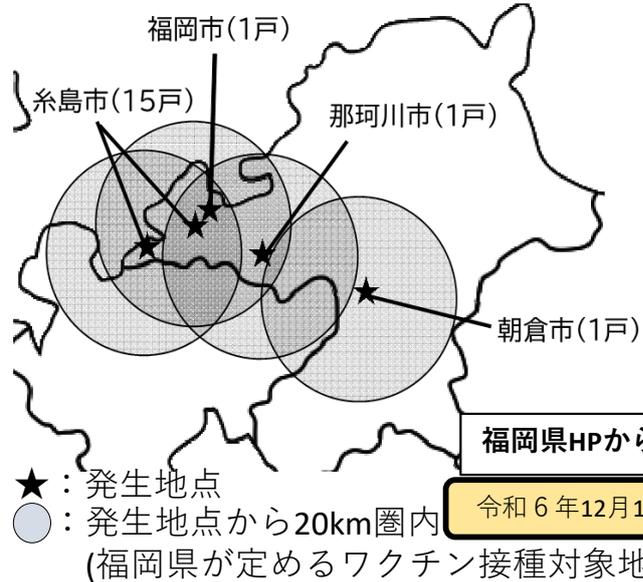
令和6年度30号(牛) 令和6年12月発行

南部家畜防疫協議会
(公社)千葉県畜産協会
千葉県南部家畜保健衛生所
〒296-0033 鴨川市八色52
電話 04(7092)2304
FAX 04(7092)1434

国内ランピースキン病発生状況

ランピースキン病は牛の皮膚に病変が生じる伝染性疾病です。11月に福岡県で国内初発生以降、発生が拡大しており、牛の導入には十分に注意が必要です(福岡県18事例、熊本県2事例)。

福岡県では11月21日からワクチン接種を開始しましたが、熊本県では今のところワクチン接種を実施していません。



ランピースキン病ワクチン接種県由来牛の取扱い

	今年11月21日以降に福岡県にいた履歴のある牛(ワクチン接種牛を含む)	今年11月21日以降に福岡県にいた履歴の無い牛
米国向け輸出牛肉取扱施設(次頁)に牛を出荷する場合	出荷不可	出荷可能 履歴を確認の上で、 ①事前に米国向け輸出牛肉取扱施設向けに出荷リストを作成、提出すること ②牛を出荷する際に、出荷で使用する車両を適切に洗浄・消毒すること ③ワクチン接種牛が車両に同乗する機会の無いことを家畜商等に確認すること
その他の場所に牛を搬出する場合		搬出可能 ①車両は十分に消毒すること ②米国向け輸出牛肉取扱施設に向う福岡県履歴の無い牛が同乗する機会の無いように家畜商等と十分に確認すること ③ワクチン接種牛はワクチン接種証明書を必ず帯同すること

まん延防止に向けて

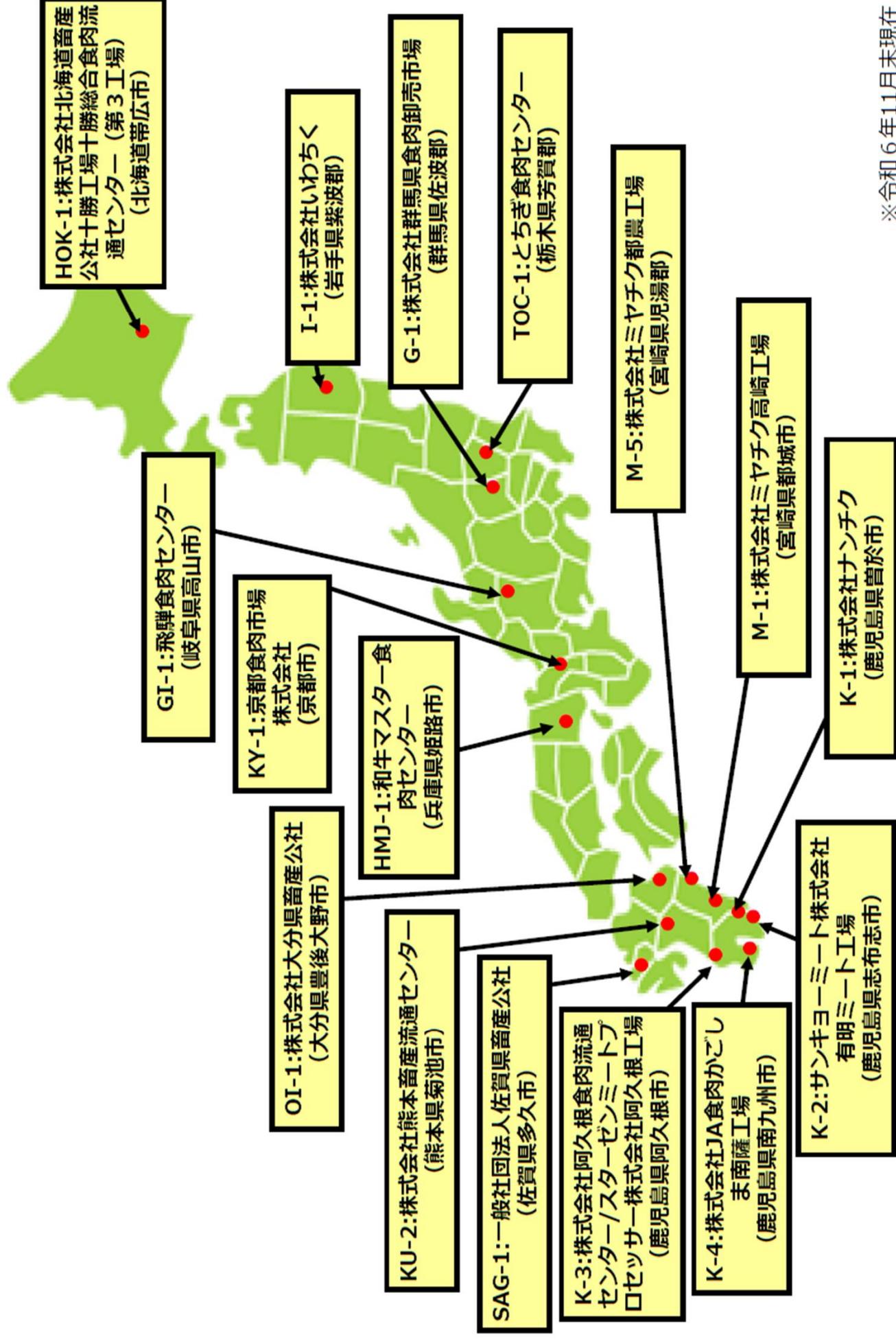
- 定期的に観察し、本病を疑う場合は速やかに隔離して獣医師又は家保に連絡
- 殺虫剤散布、粘着シート設置等により吸血昆虫対策を行う
- 他の畜産施設で使用した器具は原則として農場内に持ち込まない
- 血液を介しての感染防止のため、注射針、人工授精用器具その他体液(生乳を除く。)が付着する物品の1頭ごとの交換および消毒

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病(口蹄疫等)の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。

(参考) 米国向け輸出牛肉取扱施設



※令和6年11月末現在

ランピースキン病の感染拡大防止！

車両や人による

農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバ工等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだサシバ工等**も、**確実に殺虫**！

特に寒い時期、サシバ工等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に
集まったハ工



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバ工等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接接触れる者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器等、皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！

